



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月8日

上場会社名 上村工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4966 URL <https://www.uyemura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村寛也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阪部薫夫 TEL 06 (6202) 8518
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	38,679	7.5	6,613	3.0	6,887	4.9	4,469	1.7
30年3月期第3四半期	35,988	13.5	6,422	24.4	6,568	26.3	4,396	11.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 3,862百万円 (△21.8%) 30年3月期第3四半期 4,939百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	496.49	－
30年3月期第3四半期	488.35	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	77,069	60,737	78.8	6,747.21
30年3月期	73,611	58,225	79.1	6,468.14

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 60,737百万円 30年3月期 58,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	－	0.00	－	150.00	150.00
31年3月期	－	0.00	－		
31年3月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,390	6.8	8,430	1.3	8,550	1.5	5,120	△4.1	568.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	9,878,040株	30年3月期	9,878,040株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	876,129株	30年3月期	876,091株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	9,001,915株	30年3月期3Q	9,002,108株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が底堅く推移し、雇用情勢や所得環境も緩やかに改善するなど、回復基調が継続しました。海外においては、世界経済の回復が進んだものの、米国の政権運営や通商政策の動向、世界的な貿易摩擦の激化、金融資本市場の急激な変動等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要市場であるエレクトロニクス市場におきましては、スマートフォンの高性能・高性能化に向けて実装技術が進展したことや、カーエレクトロニクス向けで自動車の電装品の搭載数が飛躍的に増加したことにより、電子部品需要が拡大しました。

このような状況の下、当社グループは、収益力の更なる向上を目指して、高付加価値製品の開発と提案並びに拡販活動に注力するとともに、生産性向上の取り組みを強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は386億79百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益は66億13百万円（同3.0%増）、経常利益は68億87百万円（同4.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億69百万円（同1.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 表面処理用資材事業

主力のプリント基板用及びパッケージ基板用めっき薬品の売上高は、スマートフォンやカーエレクトロニクス向けが引き続き堅調に推移したことにより増加しました。特にカーエレクトロニクス向けでは、自動車の環境対応や安全性の向上のため、パワーデバイスや車載カメラモジュール用途のめっき薬品の販売が増加し、前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は299億72百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益は62億97百万円（同8.8%増）となりました。

② 表面処理用機械事業

電子部品業界においてハイエンドスマートフォン向けの新たな薄型・高密度配線基板に対応するための新規の設備投資が一巡したことから、売上高は前年同四半期を下回りました。また、主に中華圏での価格競争による収益の低下、仕様変更による追加原価の発生等があったため、セグメント損失となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34億12百万円（前年同四半期比29.6%減）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期はセグメント利益5億14百万円）となりました。

③ めっき加工事業

タイやインドネシアの自動車産業が回復し、台湾の連結子会社でも車載基板へのめっき加工の受注が堅調に推移したことから、売上高は、前年同四半期を上回りました。また、利益面でも歩留まりが改善し、黒字化しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は48億72百万円（前年同四半期比33.4%増）、セグメント利益は1億円（前年同四半期はセグメント損失1億55百万円）となりました。

④ 不動産賃貸事業

新大阪の賃貸用オフィスビルにおいて、オフィスビルの入居率が改善したことから売上高は前年同四半期を上回りましたが、大規模改修に伴う費用が増加したことにより、セグメント利益は前年同四半期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億51百万円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は2億7百万円（同33.2%減）となりました。

なお、上記のセグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ34億57百万円増加し、770億69百万円となりました。主な増加は、現金及び預金の増加19億43百万円、仕掛品の増加7億42百万円、投資有価証券の増加5億77百万円、受取手形及び売掛金の増加2億72百万円であり、主な減少は、機械装置及び運搬具（純額）の減少3億84百万円、建設仮勘定の減少1億65百万円、土地の減少1億27百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億46百万円増加し、163億31百万円となりました。主な増加は、電子記録債務の増加11億31百万円、未払法人税等の増加6億97百万円であり、主な減少は、支払手形及び買掛金の減少8億72百万円、賞与引当金の減少1億円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ25億11百万円増加し、607億37百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加31億19百万円であり、主な減少は、その他有価証券評価差額金の減少3億8百万円、為替換算調整勘定の減少3億2百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.1%から0.3%減少し78.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しております。従いまして平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,403,251	33,346,558
受取手形及び売掛金	13,536,467	13,808,468
有価証券	40,581	43,136
商品及び製品	2,027,445	2,110,852
仕掛品	1,263,488	2,006,070
原材料及び貯蔵品	1,146,193	1,303,190
その他	782,927	1,086,850
貸倒引当金	△51,936	△50,506
流動資産合計	50,148,416	53,654,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,671,622	21,085,789
減価償却累計額	△12,007,809	△12,428,776
建物及び構築物(純額)	8,663,812	8,657,012
機械装置及び運搬具	10,890,322	10,863,678
減価償却累計額	△8,052,879	△8,410,557
機械装置及び運搬具(純額)	2,837,443	2,453,121
土地	4,692,402	4,565,246
リース資産	203,539	239,965
減価償却累計額	△115,901	△120,061
リース資産(純額)	87,638	119,904
建設仮勘定	1,950,302	1,784,494
その他	4,750,187	4,908,246
減価償却累計額	△3,667,656	△3,787,002
その他(純額)	1,082,531	1,121,243
有形固定資産合計	19,314,130	18,701,023
無形固定資産	302,273	277,047
投資その他の資産		
投資有価証券	3,037,070	3,614,561
退職給付に係る資産	90,535	94,534
繰延税金資産	243,565	248,582
その他	548,517	549,186
貸倒引当金	△73,365	△70,462
投資その他の資産合計	3,846,323	4,436,402
固定資産合計	23,462,726	23,414,473
資産合計	73,611,143	77,069,095

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,715,595	1,843,185
電子記録債務	3,179,285	4,310,865
短期借入金	882,448	863,460
1年内返済予定の長期借入金	171,704	85,095
リース債務	53,014	58,255
未払法人税等	1,760,095	2,457,927
賞与引当金	154,369	54,195
役員賞与引当金	152,950	114,600
その他	2,111,939	2,183,106
流動負債合計	11,181,402	11,970,691
固定負債		
長期借入金	42,676	—
長期預り保証金	592,790	608,005
リース債務	86,847	100,958
繰延税金負債	2,323,677	2,430,937
役員退職慰労引当金	190,595	201,750
退職給付に係る負債	736,907	781,705
その他	230,380	237,253
固定負債合計	4,203,874	4,360,610
負債合計	15,385,277	16,331,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,336,936	1,336,936
資本剰余金	1,269,750	1,269,750
利益剰余金	54,080,028	57,199,090
自己株式	△3,326,952	△3,327,258
株主資本合計	53,359,762	56,478,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	917,857	609,833
為替換算調整勘定	3,957,658	3,654,724
退職給付に係る調整累計額	△9,412	△5,283
その他の包括利益累計額合計	4,866,103	4,259,274
純資産合計	58,225,865	60,737,793
負債純資産合計	73,611,143	77,069,095

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	35,988,213	38,679,884
売上原価	22,225,831	24,535,182
売上総利益	13,762,382	14,144,701
販売費及び一般管理費	7,339,951	7,531,501
営業利益	6,422,430	6,613,200
営業外収益		
受取利息	77,015	87,972
受取配当金	41,194	43,270
有価物回収益	27,939	41,533
技術指導料	—	64,239
その他	71,162	124,644
営業外収益合計	217,311	361,660
営業外費用		
支払利息	9,048	17,060
為替差損	41,257	41,827
支払手数料	10,183	10,882
その他	10,524	17,368
営業外費用合計	71,013	87,138
経常利益	6,568,728	6,887,721
特別利益		
固定資産売却益	6,611	9,863
特別利益合計	6,611	9,863
特別損失		
固定資産除売却損	26,774	14,881
減損損失	—	122,929
特別退職金	—	26,000
特別損失合計	26,774	163,810
税金等調整前四半期純利益	6,548,565	6,733,774
法人税、住民税及び事業税	1,155,039	2,031,481
法人税等調整額	976,986	232,938
法人税等合計	2,132,026	2,264,420
四半期純利益	4,416,538	4,469,354
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,396,154	4,469,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,384	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155,938	△308,024
為替換算調整勘定	363,641	△302,933
退職給付に係る調整額	3,032	4,129
その他の包括利益合計	522,611	△606,828
四半期包括利益	4,939,150	3,862,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,909,517	3,862,526
非支配株主に係る四半期包括利益	29,633	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	27,116,456	4,672,132	3,650,928	541,958	35,981,476	6,737	35,988,213	—	35,988,213
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	95,042	172,537	360	—	267,940	—	267,940	△267,940	—
計	27,211,498	4,844,670	3,651,289	541,958	36,249,416	6,737	36,256,154	△267,940	35,988,213
セグメント利益又は 損失(△)	5,788,002	514,974	△155,120	310,722	6,458,578	5,650	6,464,228	△41,798	6,422,430

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,872,717	3,374,184	4,872,173	551,049	38,670,124	9,760	38,679,884	—	38,679,884
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	99,957	38,323	394	—	138,675	—	138,675	△138,675	—
計	29,972,674	3,412,507	4,872,567	551,049	38,808,799	9,760	38,818,559	△138,675	38,679,884
セグメント利益又は 損失(△)	6,297,943	△1,037	100,407	207,661	6,604,976	8,223	6,613,200	—	6,613,200

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「めっき加工事業」セグメントにおいて、122,929千円の減損損失を計上しております。